

神戸市長

久元 喜造 様

キャナルタウンウェスト住宅入居者への 「退去通知」撤回を求める要望書

2015年6月5日

日本共産党神戸市会議員団

団長 松本 のり子

神戸市は6月3日付で、市営キャナルタウンウェスト住宅で生活している8世帯の入居者にたいし、「借上市営住宅の借上期間満了に伴うご注意」なる文書を送付しています。

この文書では、当局がすすめる「完全予約制」の申込み、「明渡し」に応じなければ、①他の市営住宅のあっせんは受けられない、②市からの移転料は払えない、③損害金請求をするというものです。これは、様々な理由から移転できず、「このまま住み続けたい」と願う入居者にたいして、問答無用で「退去」を迫るものとなっています。入居者にとっては強迫的な内容ともいえるもので、到底容認できるものではありません。

早速、入居者からは「一方的すぎる」「病気がもっと悪化しそう」「心配で寝られない」などと、神戸市に対する不信・不安の声がでています。

そもそも、当局はキャナルタウンウェスト住宅1～3号棟の入居者に対しては、「説明不足の面はありますので、そのあたりはしっかり御説明しながら丁寧に対応していきたい」（2014年10月22日、都市防災委員会）としてきました。今回の文書が、高齢の入居者に対する丁寧で親切な対応といえるでしょうか。

こうした機械的、「脅迫的」な対応はただちに改め、「文書」の回収、送付した世帯への謝罪とともに、希望者の継続入居を認めるなど、入居者の健康と命を守るために必要な対応を行うことを求めます。